

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成28年(2016)10月10日
No. 106
発行 高津啓洋

名古屋支部植樹ツアー



9月10日「平成の名古屋市民の森植樹」が、岐阜県中津川市で行われ家族で参加しました。会場は、昔天皇領だったヒノキ林の里で、今は村に払い下げになっています。午前中、植樹を行いました。わたくしたちも名古屋



大きく育て緑

支部で育てた苗木、アラカシの木を持っていき、植樹しました。そして、昼食にはホウバ寿司と五目汁をいただき、午後は、山林活動の経験でした。まず、まき割と滑車による山上からの材木の搬送。そして、のこぎりで木材切りを行いました。これで植樹活動は終わり、帰りに地元の温泉でゆっくり露天風呂に入り、

恵那山を見ながら一服の糧を味わいました。この植樹ツアーは、家族でできて楽しく、有意義な支部交流となりました。(山本記)

パラグアイ訪問記

レダ滞在のヘルマン君が草刈り、水やりを行ってくれました。ビクトルさんも草刈り機で草を刈ってくれていますが、範囲が広いので時間がかかります。多くの雑木がありますので、集めて燃やしながら仕事を進めています。

ここにも多くのマンゴーの木があって実がなり始めています。少しすると鳥害対策でカプセルを被せる必要があります。

乾季の8月は長い間雨が降らなくて植物も弱っていましたが、9月に入って少しまとまった雨が降ったので復活しています。ニームの葉もかなり黄色くなった木が多いです。

今回のボランティアは、ニームの苗木とブーゲンビリアの苗木をディアナの学校に持って行き植えました。如雨露2個と長スコップ2本も学校に寄贈しました。

バイアネグラのカソリックの教会でも植樹を希望しているので、9月の早い時期に苗木をもってゆければと思っています。

ブーゲンビリアの苗木4本を第1ゲストハウスの庭に植えました。これから、パラグアイは雨期に入りますし、春から夏になるので、植物の成長は目を見張るほどです。(伊達記)